

令和 6 年 5 月 27 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2020～2022

課題番号：20H01511

研究課題名（和文）選挙支出サイクルとヤードスティック競争：子供医療費無償化拡大における選挙の役割

研究課題名（英文）Election Cycle and Yardstick Competition

研究代表者

渡邊 安虎（Watanabe, Yasutora）

東京大学・大学院経済学研究科（経済学部）・教授

研究者番号：60866250

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,910,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、外生的な理由でばらつきのある日本の市区町村首長選挙のタイミングを操作変数として用いることで、ヤードスティック競争が選挙支出サイクルを増幅し地理的に無償化の拡大を加速させた因果効果を検証した。また、患者負担をゼロとするため過大診療を生み非効率といわれる子供医療費無償化が、この効果により増幅したことに因る死荷重についても概算した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の成果は、地方自治体の財政が困難な状況下にもかかわらず、子供医療費無償化ような政策がなぜ加速度的な広がりを見せ如何なるメカニズムで広がるのかを解明したことであり、経済学的に重要であるのみならず政策的にも意義がある。また、選挙支出サイクルのメカニズムを考えると、選挙民から政策がどう評価されるかが重要な点であるにもかかわらず、その主要なメカニズムの一つであるヤードスティック競争という観点はこれまで考えられておらず、この点から選挙支出サイクルのメカニズムを理解しようという学術的な独自性に意義があると考えられる。

研究成果の概要（英文）：This study investigates the causal effects of yardstick competition amplifying the electoral expenditure cycle and accelerating the geographic expansion of free healthcare by using the exogenously varied timing of mayoral elections in Japanese municipalities as an instrumental variable. Additionally, we estimate the deadweight loss caused by the inefficiency of free pediatric healthcare, which is said to lead to excessive medical treatment due to zero patient burden, as amplified by this effect.

研究分野：実証ミクロ経済学（政治の経済学、産業組織論、法と経済学）、計量マーケティング

キーワード：選挙サイクル

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

## 1. 研究開始当初の背景

研究開始当初、子供医療費の無償化に関する自治体間の補助競争とも呼ばれる状況が新聞等に取り上げられることが増えていた(『中学生も医療費助成 65%、1134自治体 10年で100倍』朝日新聞 2015年4月17日、『子供医療費、自治体が歯止めなき補助競争』日本経済新聞 2017年7月31日、『負担減競争エスカレート、子供医療費助成どこまで』日本経済新聞 2018年7月17日)。また、研究協力者である重岡による[1]では子供医療費無償化により医療費は大幅に増加する一方子供の健康状態には効果がないことが示されている。

地方自治体の財政が困難な状況下にもかかわらず、このような政策がなぜ加速度的な広がりを見せ如何なるメカニズムで広がるのかを解明することは、経済学的に重要であるのみならず政策的にも意義がある。このため医療経済学的な観点から子供医療費無償化に取り組んでいた重岡と政治経済学的観点から地方首長選挙に関心をもつ代表者渡辺とで本研究を行うこととした。

[1] Iizuka, T., Shigeoka, H. (2018) "Free for Children? Patient Cost-Sharing and Healthcare Utilization" NBER Working Paper w25306

## 2. 研究の目的

政治経済学では、再選確率を高めるために選挙のタイミングを考慮し政治家が政府の財政支出等を増加させる選挙支出サイクルの存在が知られている。選挙支出サイクルの文献では、選挙支出サイクルの存在が確認された後、どのような要因により選挙支出サイクルが影響を受けるのかが実証的に考察されており、官僚による予算統制の程度や選挙民の情報収集の程度に影響を受けることが近年知られるようになった。しかし、選挙支出サイクルにおいて、そもそも政治家が政策をどのように選挙のタイミングを考慮しながら変化させるのかのメカニズム、特に選挙民から自分の政策がどのように評価されているかを考えて政策の変更とそのタイミングを選ぶメカニズムについてはこれまで知られていない。

本研究の目的は、日本の子供医療費無償化に関する市区町村レベルの2005年から2015年の期間のデータを用いて、市区町村の子供医療費無償化の程度が、選挙タイミングだけではなく、近接する市区町村の子供利用費無償化の程度とタイミングにどの程度影響を受けているかにつき、その因果効果はどの程度かを理解することにある。

具体的には、各市区町村の月次レベルでの子供医療費無償化の対象年齢の拡大のデータと、同様に月次の選挙のデータ、そして市区町村の地理的近接性に関するデータとそのほかの市区町村属性に関するデータを収集したうえで、近隣市区町村の選挙のタイミングを操作変数として用いることで、近接市区町村の政策が各市区町村の子供医療費無償化のタイミングと程度に及ぼす影響の因果効果を示し、それが選挙支出サイクルのどの程度を説明することができるかを示すことが本研究の目的である。

## 3. 研究の方法

本研究の方法として、市区町村レベルのパネルデータを作成し、各対象年齢につき、無償化対象か否かのダミー変数を被説明変数とし、説明変数として(i)当該市区町村の選挙タイミング、(ii)近接市区町村の無償化対象年齢が当該市区町村の対象年齢より高齢までカバーしているか否かのダミー変数、(iii)変数(i)と変数(ii)のインタラクション、(iv)ラグ及びその他属性のコントロールを考えた計量経済学モデル推定し、(i)から(iii)の推定値から選挙支出サイクルをヤードスティック競争が増幅する程度を測った。この推定値と上記[1]の結果を用いることで、ヤードスティック競争と選挙により子供医療費無償化が波及したことにより、どの程度の追加的な死荷重が発生したかを概算した。

本研究の遂行にあたり、研究代表者の渡辺と研究協力者の重岡のこれまでのリサーチアシスタント雇用経験を活かし、データ構築及びモデル推定を補助するためのリサーチアシスタントを広く採用及び活用した。

## 4. 研究成果

本研究の成果は、日本の子供医療費無償化の文脈において、選挙支出サイクルのメカニズムにおいて地理的なヤードスティック競争が果たす役割の大きさを、月次の政策変更及び選挙タイミングのデータを用い、近接市区町村の選挙タイミングを操作変数として利用することで、その因果効果を実証的に明らかにした。

研究期間中には、研究代表者、研究協力者共に国内外の数々の学会やワークショップ・セミナーに出席し、研究成果の発表を行った。また、[2]のディスカッションペーパーをまとめ、この完成稿を現在トップジャーナルに投稿中である。

[2] Hitoshi Shigeoka and Yasutora Watanabe(2023) “ Policy Diffusion Through Elections ”  
NBER Discussion Paper

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計9件（うち査読付論文 4件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 7件）

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>上武康亮・遠山祐太・若森直樹・渡辺安虎                                       | 4. 巻<br>732号          |
| 2. 論文標題<br>実証ビジネス・エコノミクス vol.12 [最終回] 高級化路線の長期的価値 動学ゲームの推定 [入門編4]   | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>経済セミナー 2023年6・7月号   | 6. 最初と最後の頁<br>57 68   |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                      | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                              | 国際共著<br>-             |
| 1. 著者名<br>上武康亮・遠山祐太・若森直樹・渡辺安虎                                       | 4. 巻<br>731号          |
| 2. 論文標題<br>実証ビジネス・エコノミクス vol.11 市場のダイナミクスから利益構造を見通す 動学ゲームの推定 [入門編3] | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>経済セミナー 2023年4・5月号   | 6. 最初と最後の頁<br>92 100  |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                      | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                              | 国際共著<br>-             |
| 1. 著者名<br>上武康亮・遠山祐太・若森直樹・渡辺安虎                                       | 4. 巻<br>730号          |
| 2. 論文標題<br>実証ビジネス・エコノミクス vol.10 出店戦略モデルの性質を見極める 動学ゲームの推定 [入門編2]     | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>経済セミナー 2023年2・3月号   | 6. 最初と最後の頁<br>103 111 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                      | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                              | 国際共著<br>-             |
| 1. 著者名<br>上武康亮・遠山祐太・若森直樹・渡辺安虎                                       | 4. 巻<br>728号          |
| 2. 論文標題<br>実証ビジネス・エコノミクス vol.9 相手の将来の行動を読んで競争優位につなげる 動学ゲームの推定 [入門編] | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>経済セミナー 2022年10・11月号                                       | 6. 最初と最後の頁<br>82 90   |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                      | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                              | 国際共著<br>-             |

|   |                      |
|---|----------------------|
| 1. 著者名<br>上武康亮・遠山祐太・若森直樹・渡辺安虎   | 4. 巻<br>726号         |
| 2. 論文標題<br>実証ビジネス・エコノミクス vol.8 価格戦略をダイナミックに考える シングルエージェント動学モデルの推定 [応用編] | 5. 発行年<br>2022年      |
| 3. 雑誌名<br>経済セミナー 2022年6・7月号   | 6. 最初と最後の頁<br>92 103 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                                  | 国際共著<br>-            |

|   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 著者名<br>Kohei Kawaguchi, Kosuke Uetake and Yasutora Watanabe                            | 4. 巻<br>67              |
| 2. 論文標題<br>Designing Context-Based Marketing: Product Recommendations under Time Pressure | 5. 発行年<br>2021年         |
| 3. 雑誌名<br>Management Science  | 6. 最初と最後の頁<br>5301-5967 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1287/mnsc.2020.3783  | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)  | 国際共著<br>-               |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>Kei Kawai ,Yuta Toyama and Yasutora Watanabe | 4. 巻<br>13            |
| 2. 論文標題<br>Voter Turnout and Preference Aggregation    | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>American Economic Journal: Microeconomics    | 6. 最初と最後の頁<br>548-586 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1257/mic.20190063       | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                 | 国際共著<br>-             |

|   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 著者名<br>Yasutora Watanabe, Kohei Kawaguchi and Kosuke Uetake                            | 4. 巻            |
| 2. 論文標題<br>Designing Context-Based Marketing: Product Recommendations under Time Pressure | 5. 発行年<br>2021年 |
| 3. 雑誌名<br>Management Science  | 6. 最初と最後の頁      |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.1287/mnsc.2020.3783  | 査読の有無<br>有      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>該当する    |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>Yasutora Watanabe, Kei Kawai and Yuta Toyama | 4. 巻            |
| 2. 論文標題<br>Voter Turnout and Preference Aggregation    | 5. 発行年<br>2021年 |
| 3. 雑誌名<br>American Economic Journal: Microeconomics    | 6. 最初と最後の頁      |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                         | 査読の有無<br>有      |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                 | 国際共著<br>該当する    |

〔学会発表〕 計27件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 11件)

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>渡辺安虎  |
| 2. 発表標題<br>Strategy Choice and Emotion in Repeated Prisoners Dilemma |
| 3. 学会等名<br>「情動情報解読による人文系学問の再構築」の領域会議                                 |
| 4. 発表年<br>2024年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Hitoshi Shigeoka  |
| 2. 発表標題<br>CEO Gender Bias in the Formation of Firm-to-Firm Transactions |
| 3. 学会等名<br>Tohoku Universityセミナー   |
| 4. 発表年<br>2024年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Hitoshi Shigeoka  |
| 2. 発表標題<br>CEO Gender Bias in the Formation of Firm-to-Firm Transactions |
| 3. 学会等名<br>Econometric Society North American Winter Meetings (国際学会)     |
| 4. 発表年<br>2024年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>渡辺安虎   |
| 2. 発表標題<br>What Can Positive/Empirical Analysis of Political Economy Do for Society ? |
| 3. 学会等名<br>SGU10周年記念シンポジウム  |
| 4. 発表年<br>2023年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Hitoshi Shigeoka   |
| 2. 発表標題<br>Education and Later-life Mortality: Evidence from a School Reform in Japan |
| 3. 学会等名<br>4th Asian Workshop on Econometrics and Health Economics (Manila) (国際学会)    |
| 4. 発表年<br>2023年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Hitoshi Shigeoka  |
| 2. 発表標題<br>CEO Gender Bias in the Formation of Firm-to-Firm Transactions |
| 3. 学会等名<br>Monash HELP workshop (国際学会)                                   |
| 4. 発表年<br>2023年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Hitoshi Shigeoka  |
| 2. 発表標題<br>CEO Gender Bias in the Formation of Firm-to-Firm Transactions                   |
| 3. 学会等名<br>Asian and Australasian Society of Labour Economics @Taipei Taiwan (招待講演) (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2023年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Hitoshi Shigeoka  |
| 2. 発表標題<br>CEO Gender Bias in the Formation of Firm-to-Firm Transactions |
| 3. 学会等名<br>Academia Sinica (国際学会)  |
| 4. 発表年<br>2023年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Hitoshi Shigeoka  |
| 2. 発表標題<br>CEO Gender Bias in the Formation of Firm-to-Firm Transactions |
| 3. 学会等名<br>Kobe Universityセミナー   |
| 4. 発表年<br>2023年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>渡辺安虎                        |
| 2. 発表標題<br>注意と選択の実証分析                  |
| 3. 学会等名<br>日本経済学会秋季大会 (石川賞受賞講演) (招待講演) |
| 4. 発表年<br>2023年                        |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>渡辺安虎                |
| 2. 発表標題<br>情動的影響の計量経済学的構造モデル推定 |
| 3. 学会等名<br>情動情報学シンポジウム         |
| 4. 発表年<br>2023年                |



|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Yasutora Watanabe                            |
| 2. 発表標題<br>Yardstick Competition-Driven Political Cycle |
| 3. 学会等名<br>計量・数理政治研究会 (JSQPS) 2023年冬季集会                 |
| 4. 発表年<br>2023年   |

|                                      |
|--------------------------------------|
| 1. 発表者名<br>渡辺安虎                      |
| 2. 発表標題<br>情動的影響の計量経済学的構造モデル推定       |
| 3. 学会等名<br>「次世代脳」プロジェクト 冬のシンポジウム2022 |
| 4. 発表年<br>2022年                      |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Yasutora Watanabe                             |
| 2. 発表標題<br>Yardstick Competition-Driven Political Cycles |
| 3. 学会等名<br>NBER Japan Project Meeting, Fall 2022 (国際学会)  |
| 4. 発表年<br>2022年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Yasutora Watanabe                            |
| 2. 発表標題<br>Yardstick Competition Drives Election Cycles |
| 3. 学会等名<br>AASLE 2022 Conference (国際学会)                 |
| 4. 発表年<br>2022年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Yasutora Watanabe  |
| 2. 発表標題<br>Yardstick Competition and Electoral Cycles: The Case of Healthcare Subsidy |
| 3. 学会等名<br>Econometric Society European meeting 2022 (国際学会)                           |
| 4. 発表年<br>2022年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Yasutora Watanabe  |
| 2. 発表標題<br>Yardstick Competition-Driven Political Cycles                                    |
| 3. 学会等名<br>2022 Asian Meeting of the Econometric Society in East and South-East Asia (国際学会) |
| 4. 発表年<br>2022年   |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Yasutora Watanabe  |
| 2. 発表標題<br>Yardstick Competition and Electoral Cycles: The Case of Healthcare Subsidy |
| 3. 学会等名<br>Rochester University セミナー  |
| 4. 発表年<br>2022年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Hitoshi Shigeoka                                      |
| 2. 発表標題<br>AI, Skill, and Productivity: The Case of Taxi Drivers |
| 3. 学会等名<br>NBER Japan Project Meeting (国際学会)                     |
| 4. 発表年<br>2021年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Hitoshi Shigeoka                                      |
| 2. 発表標題<br>AI, Skill, and Productivity: The Case of Taxi Drivers |
| 3. 学会等名<br>Simon Fraser Universityセミナー                           |
| 4. 発表年<br>2021年  |

|                             |
|-----------------------------|
| 1. 発表者名<br>渡辺安虎             |
| 2. 発表標題<br>経済学のビジネス活用をめぐる   |
| 3. 学会等名<br>日本経済学会2021年度秋季大会 |
| 4. 発表年<br>2021年             |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>渡辺安虎  |
| 2. 発表標題<br>AI, Skill, and Productivity: The Case of Taxi Drivers |
| 3. 学会等名<br>日本経済学会2021年度春季大会                                      |
| 4. 発表年<br>2021年  |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>渡辺安虎  |
| 2. 発表標題<br>AI, Skill, and Productivity: The Case of Taxi Drivers |
| 3. 学会等名<br>日銀金融研究所セミナー   |
| 4. 発表年<br>2021年  |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>渡辺安虎   |
| 2. 発表標題<br>Designing Context-based Marketing:Product Recommendation under Time Pressure |
| 3. 学会等名<br>はこだて未来大学セミナー   |
| 4. 発表年<br>2021年   |

|                               |
|-------------------------------|
| 1. 発表者名<br>渡辺安虎               |
| 2. 発表標題<br>情動的影響を考慮したモデルの構造推定 |
| 3. 学会等名<br>生理学研究所シンポジウム       |
| 4. 発表年<br>2021年               |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>Yasutora Watanabe, Hiroshi Shigeoka  |
| 2. 発表標題<br>Yardstick Competition and Electoral Cycles: The Case of Healthcare Subsidy |
| 3. 学会等名<br>Society for the Advancement of Economic Theory Conference (国際学会)           |
| 4. 発表年<br>2021年   |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Yasutora Watanabe                                     |
| 2. 発表標題<br>AI, Skill, and Productivity: The Case of Taxi Drivers |
| 3. 学会等名<br>Monash University セミナー                                |
| 4. 発表年<br>2021年  |

〔図書〕 計2件

|                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>渡辺安虎            | 4. 発行年<br>2023年 |
| 2. 出版社<br>有斐閣             | 5. 総ページ数<br>332 |
| 3. 書名<br>世の中を知る、考える、変えていく |                 |

|                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>渡辺安虎                   | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>日経BP日本経済新聞出版           | 5. 総ページ数<br>264 |
| 3. 書名<br>使える！経済学 データ駆動社会で始まった大変革 |                 |

〔産業財産権〕

〔その他〕

|   |
|---|
| 渡辺安虎個人ページ<br><a href="https://sites.google.com/view/yas-watanabe/home">https://sites.google.com/view/yas-watanabe/home</a><br>重岡仁個人ページ<br><a href="https://sites.google.com/site/hshigeoka/">https://sites.google.com/site/hshigeoka/</a> |
|---|

6. 研究組織

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)      | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号) | 備考 |
|-------|--------------------------------|-----------------------|----|
| 研究協力者 | 重岡 仁<br><br>(Shigeoka Hitoshi) |                       |    |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関                 |  |  |  |
|---------|-------------------------|--|--|--|
| カナダ     | Simon Fraser University |  |  |  |